

1. 事業の概要

事業の概要

公益社団法人へ移行して 3 年目となり、課題である安全適正就業、派遣事業の取組、会員や就業機会の確保等につきましては、「自主・自立・共働・共助」の基本理念を再確認するとともに、市民に親しまれ愛されるシルバー人材センターとして、役職員及び会員が一丸となって取り組んでまいりました。

平成 26 年 4 月 1 日からの消費税増税に加え、同業他者の進出等でセンターを取り巻く環境は厳しくなりましたが、平成 26 年度は、受注件数は減ったものの、受注契約額は、238,802,379 円と対前年比 252 万円増加し、受取事務費も 13 万円の増となりました。これは、民間事業所からの契約額が増加したことによるものです。

会員の状況につきましては、本年度団塊の世代が全て 65 歳に達しましたが、定年延長や継続雇用によりセンターへの入会者が増えない状況が続いています。就業機会が少なかった会員の退会と高年齢による自然退会と併せ、年度末の会員数は 502 名となりましたが、就業延べ人数や就業率は前年度を上回りました。

このような状況の下、会員募集、安全適正化を図るため各種講習会、シニアワークプログラム地域事業、ボランティア清掃等を実施し、事業の普及啓発に力を注いでまいりました。

また、豊後大野市、竹田市の自治体との連携を強化し、民間団体や市民へシルバー人材センター事業の普及啓発活動を推進するとともに、会員の安全就業対策として、事故ゼロを目標に安全パトロールや安全就業推進大会を開催し事故防止に努めました。

平成 26 年度事業実績

項目	平成 26 年度	平成 25 年度	増 減
会員数	502 名	529 名	△27 名
受注件数	公共	568	△65
	民間	4,293	△43
	計	4,796 件	△108 件
契約金額	公共	91,627,452	△1,529,357
	民間	148,704,284	4,058,381
	計	238,802,379 円	236,273,355
就業延人数	42,304 名	42,152 円	152 円
就業率	92.6 %	92.2 %	0.4 %

2. 事業報告

(1) センター会員への基本理念の徹底

毎月第 2 水曜日に入会説明会を開催し、センターの仕組み・会員の基本理念である「自主」「自立」「共働」「共助」及び安全就業心得等について説明し、シルバー事業の基本理念、事業の啓発や入会促進に努めました。25 年度末の会員 529 名のうち 88 名が退会し、26 年度中に 61 名が入会しましたが 26 年度末の会員は 502 名となり、対前年度比 27 名の減となりました

また、研修会や講習会等を利用して、基本理念の徹底と高揚に努めました。

(2) 職群班・女性部の活動強化

会員の自主的、自立な活動を促し、さらには会員の参画意識や相互の連帯感を高めるため、草刈班・女性部会を設置いたしました。

- ① 職群班については、草刈班を新たに設置し、センターとの連携を密にしながら受注、会員手配、就業の効率化を図りました。
- ② 女性部の組織化。
女性部会を設置し、カラオケが趣味の 12 名の会員でサークルを結成し、活動しています。
- ③ 剪定・草刈講習会の実施
平成 27 年 2 月 1 日に豊後大野市三重町で、剪定・草刈講習会を実施し、剪定に 24 名、草刈に 33 名参加しました。

(3) 機能強化推進事業の取組み

就業機会の開拓として、自立促進のため就業機会の掘り起こしを推進しました。また、特に女性会員の就業や職域の拡大を図るための普及啓発を行いました。

(4) 安全・適正就業の推進・強化

安全・適正就業対策として安全委員会による安全パトロールを毎月実施し、10 月には安全就業推進大会を開催し、安全・適正就業の徹底を図りました。

(5) 事業の適正な運営

豊後大野市、竹田市の自治体の協力と連携を強化するとともに、事業実績を月次別に分析しながら、計画に基づいた予算執行と経費の節減に努め、健全な事業運営に努めました。

(6) 広報活動

事業の運営・活動の状況、会員の広場、発注者の声等を広報誌「シルバーだより豊肥」に掲載し、8 月と 1 月に発行しました。

また、11 月には豊後大野市主催のふるさとまつりに参加し、シルバー人材センター事業の普及啓発を行いました。

(7) 社会奉仕活動

高齢者の経験や知識、能力を活かし、社会参加と生きがいに努めるとともに、ボランティア活動として竹田地区は 6 月 26 日、豊後大野支所は 9 月 19 日にボランティア活動を行い地域社会に寄与しました。

(8) シニアワークプログラム事業の取組み

大分県シルバー人材センター連合会と連携してシニアワークプログラム事業に取り組み、介護職員初任者研修に 7 名、ガーデン・緑地管理技能者養成講習に 15 名が受講しました。

(9) 事業目標

会員数は、550 名の目標値に対して、502 名の会員に留まりました。

また、契約金額の目標額 220,000 千円に対して、238,802 千円と目標額をクリアしましたが、就業延人員 45,000 人に対して、42,304 人と 2,696 人の減少となりました。